

音楽鑑賞ノート

1年 組 番

曲名 『 _____ 』
作曲者 _____ (_____ ~ _____)
時代 _____ (音楽の歴史の中での時代)

1 聴いてみてどんな感じの音楽か、イメージしたこと、感じたことを書こう。

明るい、暗い、楽しい、悲しい、思いついた風景、連想する場面などなど・・・

2 演奏楽器について

[_____] 楽器

--	--	--	--

大きさ 小 ←————→ 大
音の高さ 高い ←————→ 低い

[_____] 楽器

特徴

3 音楽の特徴をつかんでみよう

例えば、ヴァイオリンの音が△△だから春らしく感じた。とか、コントラバスのリズムが△△なのが陽気っぽく聞こえた。などのように、感じたこととその理由を結び付けて書きましょう。

A 「春が陽気にやってきた」

B 「鳥たちが楽しい歌で挨拶をする」

C「春の到来を告げる風が泉にふきかかると、どの泉も優しくささやき流れ出す」

D「黒い雲が空を覆い、春を告げるために選ばれた稲妻と雷鳴がやってくる」

E「その後、静まると、小鳥たちは魅力的な鳴き声とともに戻ってくる」(音声5)

4 形式について

この曲は〔 〕の部分と〔 〕の部分〔 〕に
現れる〔 〕によってつくられている。

5 全体を通して鑑賞し、自分がこの曲でいちばん魅力的と感じた部分を、音楽の特徴との結び付けながら、紹介してください。(この曲を知らない人に伝わるように)

例:それぞれの場面の後に全員で演奏しているAの部分が必ず登場するので、弦楽器の重なりが華やかで、わくわくした気持ちになるので、とても好きです。

「春」指導の流れ(2時間構成)

《1時間目》

- ① ワークシートを配布し、春のAの部分を音声だけで聞かせて、1番を記入させる。
- ② 記入したことを交流する。
- ③ 曲名、作曲者名などを板書し、ワークシートに記入する。
- ④ 使用されている楽器について説明し、音色や弾き方などを確認する。チェンバロはピアノとの違いなども含めて説明する。
- ⑤ バッハが春の様々な情景を音楽にして表現していること。それぞれの主題にソネットという詩がつけられていることを伝え、楽器の音色に注目しながら通して聴く。

《2時間目》

- ① 前時の確認をし、それぞれの場面について、ソネットの詩をもとに、どんなところがその様子を感じるか、気づいたことを記入させ、その後交流する。※場面ごとに視聴する。
- ② 4の内容を確認し、記入する。
- ③ 交流し合ったことを確認しながら、通して鑑賞し、最後に5について記入する。
※時間があれば、5についても交流する。